



平成 16 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社
代表者名 取締役社長 菊川 剛
 (コード番号 7733 東証・大証第 1 部)
問合せ先 経理部長 川又 洋伸
 (TEL . 03 - 3340 - 2111代)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

連結業績予想の修正について

中間連結業績予想については平成 16 年 5 月 10 日の決算発表時に公表した数値を、通期連結業績予想については平成 16 年 9 月 8 日に公表した数値をそれぞれ次のとおり修正します。

- 1 . 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	331,500	16,000	9,000
今 回 修 正 予 想 (B)	308,700	11,400	6,700
増 減 額 (B - A)	22,800	4,600	2,300
増 減 率	6.9	28.8	25.6
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月中間期)	299,664	26,069	15,487

- 2 . 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	885,000	57,000	32,500
今 回 修 正 予 想 (B)	840,000	23,000	13,500
増 減 額 (B - A)	45,000	34,000	19,000
増 減 率	5.1	59.6	58.5
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	633,622	55,829	33,564

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 50 円 91 銭

3. 修正の理由（連結）

（1）平成17年3月中間期（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

デジタルカメラ事業において、特に第二四半期からの販売数量減や採算低下により、売上高、利益共に前回見通しを下回る見込みです。なお、医療、ライフサイエンス、産業の各事業における業績についてはほぼ従前の見込みどおりと予想しています。

（2）平成17年3月期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

デジタルカメラ事業において、本年9月より新製品発表を行ってきておりますが、従来製品についてはこれまで以上の価格下落を見込んだこと、また、市場環境についても国内や海外の一部市場でこれまで以上に厳しくなっていること等を想定し、収益を見直しています。なお、医療、ライフサイエンス、産業の各事業における業績についてはほぼ従前の見込みどおりと予想しています。

業績予想（単独）の修正について

平成16年5月10日の決算発表時に公表した業績予想（単独）を、次のとおり修正します。

1. 平成17年3月期中間業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成16年9月30日）
（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	215,000	8,500	5,000
今回修正予想（B）	210,400	3,500	3,700
増減額（B - A）	4,600	5,000	1,300
増減率	2.1	58.8	26.0
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	206,685	15,431	9,898

2. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）
（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	254,000	9,000	5,300
今回修正予想（B）	260,000	0	1,000
増減額（B - A）	6,000	9,000	4,300
増減率	2.4	100.0	81.1
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	425,184	24,299	20,460

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 3円47銭

3. 修正の理由（単独）

（1）平成17年3月中間期（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

連結決算と同様に、デジタルカメラ事業において、特に第二四半期からの販売数量減や価格下落による採算低下により、売上高、利益共に前回見通しを下回る見込みです。なお、医療、ライフサイエンス、産業の各事業における業績についてはほぼ従前の見込みどおりと予想しています。

(2) 平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

本年 10 月 1 日に映像事業と医療事業をそれぞれ分社化しましたが、映像事業における上半期の収支悪化に加え、下半期の売上減少により映像分社から受け取る技術ロイヤルティ収入が減少することが見込まれます。ライフサイエンス及び産業事業の業績については、ほぼ見込みどおりと予想しています。

~~~~~

**【ご参考】**

- 1 . 上記平成17年3月期中間連結業績の営業利益の今回修正予想数値は182億円、平成17年3月期連結業績の営業利益の修正予想数値は345億円となります。
- 2 . 上記平成 17 年 3 月期連結業績の修正予想について、平成 16 年 9 月 8 日に公表した ITX 株式会社の子会社化による影響を除外した場合の参考数値は、売上高 6,784 億円、営業利益 300 億円、経常利益 198 億円、当期純利益 119 億円となります。

以 上